

## 先導物質化学研究所教授公募

1. **募集内容:** 先導物質化学研究所・先端素子材料部門・マイクロプロセス制御分野 教授1名。  
石炭等炭素資源の化学変換と有効利用に新領域を開拓し、産官学の研究者と連携して、研究を展開する意欲のある方を求めます。研究所、部門の概要、公募内容の詳細(含、提出書類の注意事項)、については、<http://www.cm.kyushu-u.ac.jp/> に掲載していますので必ずご参照ください。
2. **募集研究分野:** 反応工学、化学工学の領域で、石炭等炭素資源の化学変換(ガス化、液化、炭化等)の経験と優れた実績を持ち、炭素資源学の新しい学理の開拓と実用基盤研究に意欲のある方。  
具体的な分野例は以下のとおりです。
  - (1) 石炭、バイオマス等炭素資源の熱化学反応解析と応用
  - (2) 石炭やバイオマス等炭素資源のガス化、熱分解と応用
  - (3) 炭化水素の炭化と機能性炭素質材料の合成と応用
3. **教育:** 九州大学大学院総合理工学府量子プロセス理工学専攻において、反応工学、プロセス工学の講義と学生指導を担当し、新しい物質科学領域で活躍できる人材の育成に積極的に貢献できる方。量子プロセス理工学専攻の内容は <http://www.asem.kyushu-u.ac.jp/> をご参照ください。
4. **応募資格:** 博士号を取得されている方。
5. **任期:** 5 年(再任可:再任回数に制限なし)。
6. **グローバル COE:** 九州大学グローバル COE プログラム「新炭素資源学」に積極的に協力し、炭素資源利用の 21 世紀型パラダイムの構築と、国際連携、地域連携、産学連携を活用した先端研究と若手研究人材の育成に積極的に貢献できる方。新炭素資源学拠点の内容は、<http://ncrs.cm.kyushu-u.ac.jp/>をごらんください。
7. **着任時期:** 平成 20 年度内のできるだけ早い時期。
8. **必要書類:**
  - ①履歴書(写真添付、E-mail 連絡先を明記のこと)
  - ②業績リスト(原著論文、総説、著書、紀要・Proceedings を わけて記載のこと)
  - ③論文別刷り(コピー可)10 編以内、研究概要、研究と教育に関する抱負、それぞれ図を含めて A4 版 2 枚程度。
  - ④特記事項(国際的な学会での招待講演、競争的資金、民間との共同研究等研究費の取得状況、受賞、特許出願、取得等)。
  - ⑤研究者、教育者としての資質についてコメントを 求めうる方 2 名程度の氏名と連絡先。

なお、資料は返却しません。

**9. 締め切り、問い合わせ、および書類送付先:**平成 20 年 11 月 7 日(金)(必着)。

〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1 九州大学先導物質化学研究所長、永島英夫  
(092-583-7793)。先導物質化学研究所教授公募と朱書の上、書留にて送付のこと。  
最終選考時にヒアリングを実施します。

**10. 着任後の研究室構成:**採用決定後、すみやかに若手研究者(准教授、助教、ないしはポスドク)を公募し、研究室を構成していただく予定です。